

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2022.4.5	2022.4.5	2022.4.5		
採取時刻			10:25	9:57	10:45		
全水深(m)			19.5	15.5	15.5		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(+)			
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	500	260		
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	180	50		
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	10	75		
5			Mallomonas spp.	40	5		
6		珪藻	Asterionella formosa	6	16		
7			Aulacoseira pusilla	20	+		
8			Melosira varians		+		
9			Navicula sp.		+		
10			Nitzschia acicularis	15	5		
11			Nitzschia spp.	+	+		
12			Skeletonema potamos	90	5		
13			Ulnaria japonica	5	20		
14			Ulnaria sp.		+		
15			Thalassiosiraceae-5	3000	2350		
16			Thalassiosiraceae-10	1100	500		
17			Thalassiosiraceae-25	+			
18			BACILLARIOPHYCEAE				
19			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50	35
20			緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	5	5
21					Closterium spp.	2	+
22	Elakatothrix sp.				+		
23	Eudorina sp.	+					
24	Micractinium spp.	10					
25	Monoraphidium spp.	150			170		
26	Pandorina morum	+					
27	Scenedesmus spp.	30			+		
28	CHLOROPHYCEAE	600			160		
29	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1		
30	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+			
31			Keratella sp.				
32			Polyarthra spp.	+	+		
33			Synchaeta spp.	+	+		
34	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+		
35			Tintinnidium spp.	+	1		
36		多膜口	POLYHYMENOPHORA	5	5		
37			CILIOPHORA	5	+		
38	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+		
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40	10		
40			鞭毛藻	30	30		
41			鞭毛虫		30		

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2022. 4. 5	2022. 4. 5	2022. 4. 5
総数		5893	3733	2082
種類組成	藍藻	0	0	0
	クリプト藻	500	260	220
	渦鞭毛藻	180	50	155
	黄金色藻	50	80	50
	珪藻	4236	2896	1284
	ユーグレナ藻	50	35	10
	緑藻	797	335	316
	その他の植物性動物性	70	40	40
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2022.5.16	2022.5.16	2022.5.16	
採取時刻			12:30	11:40	13:15	
全水深(m)			20.0	15.4	16.1	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(5)		
2			Pseudanabaena sp.		(5)	
3			Nostocaceae	(5)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	40	125	450
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella			1
6			Gymnodinium sp.			+
7			Peridinium spp.	15	5	15
8	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	+	106	+
9			Mallomonas akrokomos	+	45	10
10			Mallomonas spp.	+	15	5
11			Synura spp.	+	9	5
12			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		
13		珪藻	Acanthoceras zachariasii	10	+	15
14			Asterionella formosa		14	
15			Aulacoseira ambigua	+	100	+
16			Aulacoseira pusilla			5
17			Aulacoseira granulata	30	+	30
18			Melosira varians		+	+
19	Nitzschia acicularis		10	+		
20	Nitzschia spp.		+	5	5	
21	Skeletonema potamos		10		10	
22	Ulnaria japonica		1450	330	900	
23	Thalassiosiraceae-5	210	1450	575		
24	Thalassiosiraceae-10	170	40	230		
25	Thalassiosiraceae-25	+	5	5		
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	30	30
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	30		40
28			Ankyra sp.		5	
29			Chodatella sp.	5		
30			Coelastrum spp.	40		+
31			Dictyosphaerium sp.			+
32			Eudorina spp.	32	128	+
33			Micractinium spp.	+	40	
34			Monoraphidium spp.	10	15	15
35			Oocystis sp.	+		
36			Pandorina morum	+	96	
37			Scenedesmus spp.	40	+	120
38			Schroederia sp.	5		
39			Staurastrum sp.	1		
40			Tetraedron sp.	5		
41			Treubaria sp.	5		
42			Yamagishiella unicocca			32
43			CHLOROPHYCEAE		80	210
44	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	1
45	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.			+
46			Brachionus sp.		1	
47			Keratella spp.		+	2
48			Polyarthra spp.	+	2	1
49			Synchaeta sp.		+	
50			EUROTATOREA	+	1	
51	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	7	3
52			Tintinnopsis spp.	1	1	+
53			POLYHYMENOPHORA			+
54			—	CILIOPHORA	5	+
55	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+	+
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25	40	+
57			鞭毛藻	25	20	10
58			鞭毛虫	25	20	45

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2022. 5. 16	2022. 5. 16	2022. 5. 16
総 数		2301	2875	2791
種 類 組 成	藍 藻	0	10	5
	ク リ プ ト 藻	40	125	450
	渦 鞭 毛 藻	15	5	16
	黄 金 色 藻	0	175	20
	珪 藻	1890	1944	1775
	ユ ー グ レ ナ 藻	20	30	30
	緑 藻	253	494	427
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	50	60	11
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2022.6.13	2022.6.13	2022.6.13		
採取時刻			10:22	9:52	10:48		
全水深(m)			18.7	15.6	15.5		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(45)		
2			Aphanocapsa spp.		(20)		
3			Cuspidothrix spp.	(2)	(+)		
4			Microcystis aeruginosa	646	1950	2650	
5			Microcystis wesenbergii	+			
6			Nostocaceae	(2)	(5)	(5)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	45	110	400	
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	5	46	4	
9			Peridinium spp.	10		5	
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	10		5	
11			Mallomonas spp.	5	15	25	
12			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		36	7
13			珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	+	25
14				Asterionella formosa	8	+	20
15				Aulacoseira pusilla	+		105
16				Aulacoseira granulata	+	40	+
17				Fragilaria crotonensis	32	20	34
18				Nitzschia spp.	5	+	
19				Ulnaria japonica			10
20				Urosolenia spp.	10		45
21				Thalassiosiraceae-5	5	10	30
22				Thalassiosiraceae-10	10		10
23			BACILLARIOPHYCEAE	+			
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	15	15	40	
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.			+	
26			Ankyra spp.	175	40	155	
27			Closterium spp.	6		5	
28			Crucigenia tetrapedia	+			
29			Crucigeniella crucifera			+	
30			Dictyosphaerium sp.			60	
31			Elakatothrix spp.	+	+		
32			Eudorina spp.	288	4320	1024	
33			Oocystis spp.	+		+	
34			Pandorina morum			8	
35			Pediastrum duplex	+			
36			Pediastrum simplex	+		+	
37			Pediastrum tetras			+	
38			Scenedesmus spp.	60		40	
39			Staurastrum spp.	+		+	
40				CHLOROPHYCEAE	260	100	320
41	節足動物	甲殻	CRUSTACEA			1	
42	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1	+	
43			Trichocercidae	+	1	3	
44	織毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	+	+	
45		多膜口	POLYHYMENOPHORA	10	20	15	
46		-	CILIOPHORA	+		10	
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	20	70	40	
48			鞭毛藻	30	30	80	
49			鞭毛虫	50	20	20	

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2022.6.13	2022.6.13	2022.6.13
総数		1714	6849	5266
種類組成	藍藻	650	1955	2720
	クリプト藻	45	110	400
	渦鞭毛藻	15	46	9
	黄金色藻	15	15	30
	珪藻	75	70	279
	ユーグレナ藻	15	15	40
	緑藻	789	4460	1612
	その他の植物性動物性	50	136	127
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2022.7.13	2022.7.13	2022.7.13	
採取時刻			12:28	13:29	11:38	
全水深(m)			18.6	14.4	14.5	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)		
2			Aphanocapsa spp.	(80)	(100)	(160)
3			Aphanothece spp.	(25)	(45)	(85)
4			Cuspidothrix spp.	(+)	(+)	(20)
5			Microcystis aeruginosa	56400	159000	117000
6			Microcystis wesenbergii		+	
7			Pseudanabaena mucicola	(10)	(25)	(15)
8			Romeria spp.	(10)	(5)	
9			Snowella spp.	(5)	(+)	(25)
10			Nostocaceae	(60)	(30)	(150)
11			CHROOCOCCALES	(5)	(+)	
12			OSCILLATORIALES	(5)		(20)
13	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	120	100	850
14	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	16	104	279
15			Peridinium spp.	10		5
16	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+		
17			Mallomonas spp.			20
18		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	+	+
19			Aulacoseira granulata	+		+
20			Fragilaria crotonensis		22	
21			Fragilaria spp.	30	30	
22			Nitzschia acicularis	+		15
23			Nitzschia fruticosa			+
24			Nitzschia sp.			5
25			Ulnaria japonica	+	+	+
26			Urosolenia spp.	15	50	20
27	Thalassiosiraceae-25		+			
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.			+
29	緑色植物	緑藻	Trachelomonas spp.	15	15	85
30			Actinastrum spp.	40	+	140
31			Ankyra spp.	+	5	50
32			Chlorogonium spp.	+	+	
33			Chodatella sp.	5		
34			Closterium spp.	2	2	2
35			Coelastrum spp.	+		+
36			Crucigeniella crucifera	40		+
37			Dictyosphaerium spp.	80	60	+
38			Elakatothrix spp.			35
39			Eudorina spp.	256	48	336
40			Micractinium spp.		20	20
41			Oocystis spp.	40		
42			Pediastrum duplex	+		
43			Pediastrum simplex	16		48
44			Scenedesmus spp.	30	20	50
45			Schroederia spp.	5	5	+
46	Staurastrum spp.	+	+	+		
47	CHLOROPHYCEAE	180	170	200		
48	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	2	+	
49	輪形動物	輪虫	Keratella spp.	+		1
50			Polyarthra spp.	+		1
51			Trichocercidae	1		1
52	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps spp.	+	+	+
53		貧膜口	SESSILIDA	+	+	+
54		多膜口	Tintinnidium sp.			1
55			Tintinnopsis spp.	+		3
56		POLYHYMENOPHORA	35	10	15	
57	—	CILIOPHORA	45	65	40	
58	不明プランクトン	微小鞭毛藻(5μm以下)	75	75	25	
59		鞭毛藻	25		25	
60		鞭毛虫	25	25	25	

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2022.7.13	2022.7.13	2022.7.13
総数		57708	160031	119772
種類組成	藍藻	56600	159205	117475
	クリプト藻	120	100	850
	渦鞭毛藻	26	104	284
	黄金色藻	0	0	20
	珪藻	45	102	40
	ユーグレナ藻	15	15	85
	緑藻	694	330	881
	その他の植物性動物性	108	100	87
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				



調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取年月日			2022.8.10	2022.8.10	2022.8.10			
採取時刻			10:35	9:57	11:04			
全水深(m)			19.1	15.6	15.4			
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(40)	(135)	(160)		
2			Cuspidothrix spp.	(3700)	(3050)	(5700)		
3			Dolichospermum spp.	(65)	(70)	(190)		
4			Microcystis aeruginosa	3850	6250	3150		
5			Microcystis wesenbergii	210				
6			Pseudanabaena mucicola	(+)	(+)	(+)		
7			Pseudanabaena spp.	(+)		(5)		
8			Romeria spp.	(600)	(160)	(400)		
9			Nostocaceae	(1650)	(850)	(2550)		
10			Pseudanabaenaceae	(200)	(250)	(300)		
11				OSCILLATORIALES	(1300)	(1600)	(3200)	
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	600	600	1400		
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1	7		
14			Peridinium spp.	45	55	25		
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		45	+		
16			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		2		
17		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	10			
18			Aulacoseira ambigua		+			
19			Aulacoseira pusilla		45			
20			Aulacoseira granulata		+			
21			Fragilaria sp.			+		
22			Nitzschia acicularis	+		+		
23			Nitzschia fruticosa		40	10		
24			Nitzschia spp.		5	5		
25			Staurosirella berolinensis		+			
26			Ulnaria japonica		+			
27			Urosolenia spp.	5	10	5		
28			Thalassiosiraceae-5	+	5			
29	Thalassiosiraceae-10	5	10					
30		BACILLARIOPHYCEAE			5			
31	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+			
32			Trachelomonas spp.	70	25	120		
33	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	40	+		
34			Ankyra spp.		15	25		
35			Ankistrodesmus spp.		20	+		
36			Coelastrum sp.		+			
37			Crucigeniella crucifera	100	160	20		
38			Dictyosphaerium spp.	20	40	+		
39			Elakatothrix spp.	20		15		
40			Eudorina spp.	272	16	80		
41			Golenkinia sp.		5			
42			Gonium sp.	16				
43			Oocystis spp.	+	+	+		
44			Pediastrum tetras		+			
45			Scenedesmus spp.	30	90	20		
46			Schroederia spp.		10			
47			Staurastrum spp.		+	+		
48			Treubaria sp.		5			
49			Volvox sp.		+			
50				CHLOROPHYCEAE	170	240	150	
51			節足動物	甲殻	Diaphanosoma sp.	1		
52					CRUSTACEA	+	1	2
53	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.			+		
54			Brachionus sp.	1				
55			Filinia sp.		1			
56			Polyarthra spp.	1	+	1		
57			Trichocercidae	7	+	2		
58			EUROTATOREA	+	1	+		
59			繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps spp.	+		+
60	貧膜口	SESSILIDA			+		1	
61	多膜口	Tintinnidium spp.			2	2	+	
62		Tintinnopsis sp.				+		
63	POLYHYMENOPHORA	10			20	15		
64	-	CILIOPHORA	15	20	10			
65	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+			
66	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75	150	50		
67			鞭毛藻		100	200		
68			鞭毛虫		150	100	150	

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2022. 8. 10	2022. 8. 10	2022. 8. 10
総数		13235	14254	17973
種類組成	藍藻	11615	12365	15655
	クリプト藻	600	600	1400
	渦鞭毛藻	45	56	32
	黄金色藻	0	45	0
	珪藻	15	125	25
	ユーグレナ藻	70	25	120
	緑藻	628	641	310
	その他の植物性動物性	75	252	250
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2022.9.14	2022.9.14	2022.9.14		
採取時刻			9:15	10:00	8:47		
全水深(m)			19.0	15.3	15.1		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(+)		
2			Aphanocapsa spp.	(15)	(20)	(15)	
3			Coelosphaerium sp.			(+)	
4			Cuspidothrix spp.	(1350)	(1100)	(1000)	
5			Dolichospermum spp.	(+)	(10)		
6			Microcystis aeruginosa	620	150	220	
7			Microcystis wesenbergii		+		
8			Nostocaceae	(1200)	(1100)	(1050)	
9			Pseudanabaenaceae	(15)	(20)		
10			CHROOCOCCALES	(+)	(+)		
11			OSCILLATORIALES	(2750)	(2350)	(3200)	
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	725	450	
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		6	1	
14			Peridinium spp.		15	20	
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		5	5	
16			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		4	1
17			珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	10	15
18				Aulacoseira pusilla			10
19				Navicula sp.	+		
20				Nitzschia acicularis	5		10
21				Nitzschia fruticosa			+
22				Ulnaria japonica	55	100	115
23				Urosolenia spp.	75	105	90
24				Thalassiosiraceae-5	130	25	25
25	Thalassiosiraceae-10	20		20	10		
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Trachelomonas spp.	15	25	5
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	20	60	
28			Ankyra spp.			15	
29			Ankistrodesmus spp.	10	+		
30			Closterium spp.	15	15	20	
31			Coelastrum sp.			+	
32			Crucigeniella crucifera	40		40	
33			Dictyosphaerium spp.		+	20	
34			Elakatothrix spp.		20	20	
35			Eudorina sp.		+		
36			Golenkinia sp.			5	
37			Micractinium spp.		40	+	
38			Monoraphidium spp.		10		
39			Mougeotia spp.	+		40	
40			Oocystis spp.		10	70	
41			Pediastrum duplex		+		
42			Pediastrum simplex			+	
43			Pediastrum tetras			4	
44	Scenedesmus spp.	10	80	10			
45	Staurastrum spp.	+		20			
46	Treubaria spp.		+	+			
47	CHLOROPHYCEAE	35	170	50			
48	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+		
49	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.			1	
50			Keratella spp.	1	+		
51			Polyarthra spp.		3	1	
52			Trichocercidae	+	1	1	
53			EUROTATOREA		+		
54	繊毛虫	キネトフラクミノフォラ	Coleps sp.			+	
55			Tintinnidium sp.		+		
56		Tintinnopsis spp.		1	4		
57		POLYHYMENOPHORA	+	5	5		
58			CILIOPHORA	5	15	10	
59	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+	+	
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		75	+	
61			鞭毛藻	10	50	10	
62			鞭毛虫	10	25	40	

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2022.9.14	2022.9.14	2022.9.14
総 数		6416	6330	6688
種 類 組 成	藍 藻	5950	4750	5485
	ク リ プ ト 藻	25	725	450
	渦 鞭 毛 藻	0	21	21
	黄 金 色 藻	0	5	5
	珪 藻	290	260	275
	ユ ー グ レ ナ 藻	15	25	5
	緑 藻	110	365	374
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	10	129	11
		16	50	62
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取年月日			2022.10.11	2022.10.11	2022.10.11			
採取時刻			10:43	11:25	10:15			
全水深(m)			19.1	15.4	15.3			
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(5)			
2			Aphanocapsa spp.	(10)	(10)			
3			Cuspidothrix spp.	(100)	(45)	(40)		
4			Merismopedia spp.	(5)	(5)			
5			Microcystis aeruginosa	470	515	295		
6			Pseudanabaena spp.	(15)	(5)	(5)		
7			Nostocaceae	(80)	(25)	(35)		
8			Pseudanabaenaceae	(5)				
9			CHROOCOCCALES		(10)	(5)		
10			OSCILLATORIALES	(500)	(230)	(270)		
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	65	180	450		
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	4	1	2		
13			Peridinium spp.	5	15	5		
14	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	+	5			
15			Mallomonas spp.	+	+	+		
16		珪藻	Acanthoceras zachariasii	10	+			
17			Aulacoseira pusilla		20	10		
18			Nitzschia acicularis	10		+		
19			Nitzschia fruticosa	+	+			
20			Nitzschia sp.			5		
21			Ulnaria japonica	20	5	10		
22			Urosolenia spp.	5	5	10		
23			Thalassiosiraceae-5	10	15	30		
24			Thalassiosiraceae-10	25	10	10		
25			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+	
26					Trachelomonas spp.	35	10	55
27			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.		20	+
28	Ankyra spp.	45			75	70		
29	Closterium spp.	5			2	9		
30	Coelastrum spp.	120				+		
31	Crucigenia fenestrata				40			
32	Crucigenia tetrapedia	20			40			
33	Dictyosphaerium sp.	40						
34	Elakatothrix spp.	10				30		
35	Eudorina spp.	+			96	+		
36	Kirchneriella sp.				75			
37	Micractinium spp.	+				+		
38	Monoraphidium spp.	+			+			
39	Mougeotia spp.	+				+		
40	Oocystis sp.					+		
41	Pediastrum simplex	+			+	+		
42	Pediastrum tetras	+						
43	Polyedriopsis spinulosa					5		
44	Scenedesmus acuminatus					+		
45	Scenedesmus spp.	100			100	80		
46	Staurastrum spp.	2			2	10		
47	Tetraedron sp.	+						
48	CHLOROPHYCEAE	135			65	95		
49	輪形動物	輪虫			Keratella sp.		1	
50					Polyarthra spp.		2	
51					EUROTATOREA		+	
52	繊毛虫	多膜口			Tintinnidium sp.		1	
53					Tintinnopsis spp.	1		3
54					POLYHYMENOPHORA	5	5	10
55			CILIOPHORA	+		+		
56	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+				
57	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		10	10		
58			鞭毛藻			20		
59			鞭毛虫	10	+	10		

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2022.10.11	2022.10.11	2022.10.11
総数		1867	1646	1593
種類組成	藍藻	1185	850	650
	クリプト藻	65	180	450
	渦鞭毛藻	9	16	7
	黄金色藻	0	5	0
	珪藻	80	55	75
	ユーグレナ藻	35	10	55
	緑藻	477	515	299
	その他の植物性動物性	0	10	30
	動物性	16	5	27
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2022.11.8	2022.11.8	2022.11.8	
採取時刻			11:06	10:24	12:15	
全水深(m)			19.1	15.3	15.5	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(15)	(5)	(2)
2			Aphanocapsa spp.	(+)	(+)	
3			Dolichospermum sp.	(+)		
4			Microcystis aeruginosa	60	10	35
5			Nostocaceae	(30)	(10)	(+)
6			CHROOCOCCALES			(10)
7			OSCILLATORIALES	(+)	(+)	
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	20	250	95
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1	
10			Gymnodinium sp.			+
11			Peridinium sp.	+		
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	+	55	15
13			Mallomonas spp.	5	+	+
14		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		6	
15		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	10	+
16			Amphora sp.	+		
17			Aulacoseira ambigua	+	+	
18			Aulacoseira pusilla	15	10	15
19			Aulacoseira granulata	16	+	16
20			Nitzschia acicularis	+		
21			Skeletonema potamos		10	
22			Ulnaria japonica	+		1
23			Urosolenia spp.	+	+	+
24			Thalassiosiraceae-5	35	20	40
25			Thalassiosiraceae-10	5	25	75
26	Thalassiosiraceae-25		+	+	10	
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	70	25	35
28	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.	10	15	5
29			Closterium spp.	3	4	4
30			Crucigeniella crucifera		+	40
31			Dictyosphaerium spp.	+	+	
32			Elakatothrix spp.	5	+	20
33			Eudorina spp.		+	+
34			Micractinium sp.	+		
35			Pediastrum simplex	16		
36			Scenedesmus ecornis			+
37			Scenedesmus spp.	30	20	40
38			Staurastrum spp.	+	2	+
39			CHLOROPHYCEAE	35	10	55
40	節足動物	甲殻	Diaphanosoma sp.		+	
41		CRUSTACEA	2			
42	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			+
43			Polyarthra spp.	+	+	+
44	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	+		+
45			POLYHYMENOPHORA			+
46		-	CILIOPHORA	5	5	
47	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	+	+
48	不明プランクトン		鞭毛藻		+	
49			鞭毛虫	15	10	10

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2022.11.8	2022.11.8	2022.11.8
総数		402	503	523
種類組成	藍藻	105	25	47
	クリプト藻	20	250	95
	渦鞭毛藻	0	1	0
	黄金色藻	5	55	15
	珪藻	76	75	157
	ユーグレナ藻	70	25	35
	緑藻	99	51	164
	その他の植物性動物性	0	6	0
	動物性	27	15	10
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				



調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2022.12.21	2022.12.21	2022.12.21	
採取時刻			11:04	10:20	11:42	
全水深(m)			20.3	15.5	15.5	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(1)		
2			OSCILLATORIALES		(+)	
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	6	68	
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		1	
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		1	
6			Synura spp.		19	
7	珪藻	Aulacoseira ambigua	62	32	3	
8		Aulacoseira pusilla	94	38	8	
9		Aulacoseira granulata	+			
10		Skeletonema potamos	+			
11		Thalassiosiraceae-5	30	13	8	
12		Thalassiosiraceae-10	12	8	18	
13		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	2	19
14	緑色植物	緑藻	Ankyra sp.		+	
15			Closterium spp.	4	9	14
16			Crucigenia tetrapedia		4	
17			Elakatothrix spp.	+	4	
18			Micractinium sp.	48		
19			Monoraphidium spp.	2		1
20			Pediastrum simplex		+	
21			Scenedesmus spp.	4	14	4
22			Staurastrum spp.	+	1	
23			CHLOROPHYCEAE	20	29	55
24			輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+
25	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		3	
26			POLYHYMENOPHORA	+	3	
27			-	CILIOPHORA	2	2
28	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+	
29	不明プランクトン		鞭毛藻		+	
30			鞭毛虫	10		
総数			296	240	361	
種類組成			藍藻	0	1	
			クリプト藻	6	68	
			渦鞭毛藻	0	0	
			黄金色藻	0	20	
			珪藻	198	91	
			ユーグレナ藻	2	19	
			その他の植物性	78	61	
			動物性	0	0	
				12	0	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取年月日			2023.1.5	2023.1.5	2023.1.5			
採取時刻			10:55	10:18	11:28			
全水深(m)			21.2	14.9	13.5			
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(1)			
2			Microcystis aeruginosa	+				
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5	82			
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		1			
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		1			
6			Mallomonas sp.			1		
7			Synura spp.		8	44		
8		珪藻	Amphora sp.	+				
9			Asterionella formosa	8		+		
10			Aulacoseira ambigua	4		49		
11			Aulacoseira pusilla	34	15	49		
12			Nitzschia acicularis	4	1			
13			Nitzschia spp.	9				
14			Skeletonema potamos	6	12	4		
15			Ulnaria japonica			+		
16			Thalassiosiraceae-5	16	13	11		
17			Thalassiosiraceae-10	11	16	17		
18			BACILLARIOPHYCEAE	2				
19			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	2	8	
20			緑色植物	緑藻	Closterium spp.	6	10	
21					Crucigenia tetrapedia	+	4	12
22					Elakatothrix spp.	2	+	
23	Scenedesmus spp.	12				6		
24	Staurastrum spp.	+			2	+		
25	CHLOROPHYCEAE	16			23	11		
26	輪形動物	輪虫			Keratella sp.		1	
27			Polyarthra spp.		1	1		
28	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		1			
29			POLYHYMENOPHORA			+		
30			CILIOPHORA	+	+	1		
31	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+			
32	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μm以下）		+			
33			鞭毛藻		10	10		
34			鞭毛虫	10	+	10		
総数			147	217	350			
種類組成			藍藻	0	1			
			クリプト藻	5	82			
			渦鞭毛藻	0	1			
			黄金色藻	0	9			
			珪藻	94	65			
			ユーグレナ藻	2	8			
			緑藻	36	39			
			その他の植物性	0	10			
			動物性	10	2			
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。				
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人				
備考								
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>								

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2023.2.8	2023.2.8	2023.2.8	
採取時刻			9:07	9:41	8:37	
全水深(m)			19.6	14.9	14.9	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(1)		
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	80	525	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	+	
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		+	
5			Mallomonas akrokomos	+	30	
6			Mallomonas spp.	+	10	
7			Synura spp.	1000	355	
8		珪藻	Amphora sp.	+		
9			Asterionella formosa	+	8	
10			Aulacoseira ambigua	10	+	
11			Aulacoseira pusilla	+	50	
12			Navicula sp.		+	
13			Nitzschia acicularis	+	+	
14			Nitzschia sp.	+		
15			Skeletonema potamos	10	75	
16			Ulnaria japonica	5	+	
17			Thalassiosiraceae-5	300	85	
18			Thalassiosiraceae-10	150	65	
19			Thalassiosiraceae-25		+	
20	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	10
21	緑色植物		緑藻	Closterium spp.	1	7
22		Crucigenia tetrapedia			40	
23		Dictyosphaerium sp.			+	
24		Monoraphidium spp.		10		
25		Oocystis sp.			+	
26		Pandorina morum			+	
27		Scenedesmus spp.		40	40	
28		Staurastrum spp.		1	+	
29		CHLOROPHYCEAE		55	25	
30	節足動物	甲殻		CRUSTACEA		1
31	輪形動物	輪虫	Kellicottia sp.		+	
32			Polyarthra sp.		+	
33			Synchaeta spp.	+	+	
34	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
35		多膜口	Tintinnidium spp.	2	1	
36			Tintinnopsis spp.	1	+	
37			POLYHYMENOPHORA	15	+	
38			-	CILIOPHORA		10
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		10	
40			鞭毛藻	35	10	
41			鞭毛虫	20	20	

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2023.2.8	2023.2.8	2023.2.8
総数		1761	1377	3464
種類組成	藍藻	1	0	0
	クリプト藻	80	525	270
	渦鞭毛藻	5	0	35
	黄金色藻	1000	395	2290
	珪藻	475	283	585
	ユーグレナ藻	20	10	25
	緑藻	107	112	102
	その他の植物性動物性	35	20	120
		38	32	37
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2023.3.3	2023.3.3	2023.3.3	
採取時刻			9:17	10:00	8:50	
全水深(m)			18.9	15.0	15.0	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(25)		
2			OSCILLATORIALES	(5)		
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	30	65 105	
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	35	40 85	
5	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	34	95 37	
6			Mallomonas akrokomos	5	25 25	
7			Mallomonas spp.	15	25 55	
8			Synura spp.	950	462 452	
9			珪藻	Asterionella formosa	44	36 40
10				Aulacoseira ambigua	+	+ +
11				Aulacoseira pusilla	90	70 80
12				Fragilaria spp.	5	5
13		Melosira varians		+		
14		Nitzschia acicularis		+	+ +	
15		Nitzschia sp.		+		
16		Skeletonema potamos		190	145 255	
17		Ulnaria japonica		35	10 10	
18		Thalassiosiraceae-5		450	650 1000	
19		Thalassiosiraceae-10		55	60 35	
20		Thalassiosiraceae-25			1 +	
21		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40	40 35
22		緑色植物	緑藻	Closterium spp.	184	241 223
23				Coelastrum spp.	+	+ +
24				Crucigenia tetrapedia	40	20
25	Dictyosphaerium spp.				+ +	
26	Eudorina sp.				16	
27	Monoraphidium spp.			5	25	
28	Oocystis spp.				+ 15	
29	Pandorina morum				16	
30	Scenedesmus spp.			20	40 40	
31	Staurastrum sp.				+ +	
32				CHLOROPHYCEAE	130	330 400
33	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1	
34			Polyarthra sp.		+ +	
35	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1	1	
36			Tintinnidium spp.	2	3 11	
37		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+	10	
38		-	CILIOPHORA	10	20	
39	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	50	25 200	
41			鞭毛藻	100	75 175	
42			鞭毛虫	25	50 175	

採取地点		提体直上流部	小月橋	龜山大橋
採取年月日		2023.3.3	2023.3.3	2023.3.3
総数		2575	2525	3530
種類組成	藍藻	30	0	0
	クリプト藻	30	65	105
	渦鞭毛藻	35	40	85
	黄金色藻	1004	607	569
	珪藻	869	972	1425
	ユーグレナ藻	40	40	35
	緑藻	379	647	719
	その他の植物性動物性	150	100	375
	動物性	38	54	217
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				